

日本・デンマーク 国際シンポジウム

NOT EASY TO USE BIOBANK WHAT IS THE BARRIER? & BIGDATA?

バイオバンク/ビッグデータの 更なる利活用に向けて

2020年2月12日(水) 13:30-18:10 日時

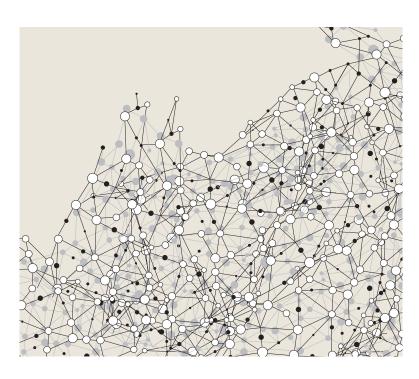
・プレシンポジウムセッション 13:00-

·情報交換会 18:20-19:30

東京 会場

ヒルサイドプラザ (代官山ヒルサイドテラス内)

http://hillsideterrace.com/access/



| 言語 | 日本語・英語(同時通訳を用意する予定です)

|主催|東北大学東北メディカル・メガバンク機構

|後 援 | デンマーク大使館

|スピーカー協力 | 電通、モニターデロイト、ちとせ研究所

申込方法

お名前、ご所属、連絡先を明記の上、下記メールでお申し込み下さい。

詳細はこちら

https://www.megabank.tohoku.ac.jp/news/37063

多くの人々の協力を長期に得て行うコホート調査や バイオバンクが、各国で大規模に構築され、そこで生み 出されるビッグデータが、新たな医療や産業を牽引する ことが期待されています。また、バイオバンクで生み 出されるデータが、その他のビッグデータ、すなわち 診療データ・公的データなどと結びつくことでその 価値がさらに高まることも期待されています。

しかしながら、診療によって蓄積されたデータ、研究に よって集められたデータ、公的機関によるデータなど を、正確に、効率よく、そして、個人情報の保護などに 配慮しながら統合して、多様な分野にわたる産業界等 による有効な利活用を促すことは決して容易ではあり ません。国民全体が参加するバイオバンクの構築など が進むデンマークの先進的な事例や、両国における バイオバンクの産業利用とその課題の紹介をもとに、 バイオバンクによるビッグデータの更なる利活用の 未来像を探るシンポジウムを開催します。

プログラム

12:30 開場

13:00 プレシンポジウムセッション デンマークのご紹介

13:30 シンポジウム開始

13:40 第一部

日本のバイオバンク、生体試料活用研究、 デンマークに学ぶ大規模なデータ利活用 演者:

山本 雅之(東北大学)

山本 万里(農業·食品産業技術総合研究機構) Lisbeth NIELSEN (デンマーク保健省局長) Bartlomiei WILKOWSKI(デンマーク国立バイオバンク) 荻島 創一(東北大学) ほか

16:05 第二部

バイオバンクの産業利用とその課題

Kaare CHRISTENSEN (デンマーク加齢研究センター) 寳澤 篤(東北大学) Jes HERBERT(デンマーク工科大学)

18:10 閉会

18:20- 同会場で情報交換会を行います。(19:30まで)

笠原 堅(ちとせ研究所) ほか

本シンポジウムは、厚生労働科学研究費補助金「次世代 バイオデータ基盤の構築に向けたデータ連携の概念 実証」により行っています。